

飛躍

HIYAKU

第394号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2020年1月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

あけましておめでとうございます

新年を迎えて ～さらなる改革を目指して～



校長
片桐 知己治

新年あけましておめでとうございます。
2020年、新しい年の始まりです。

この1年を振り返ってみると、まずは、高校3年生の82.4%、375名が東海大学に合格し、希望の専門分野に進学することが決まりました。また、これらの生徒のうち、46名が特別奨励となりました。

剛健旅行は、久しぶりの雨天での実施となり、完歩率が昨年より5%下がって89.2%となりました。中等部・高校の体育祭、スポーツ大会、中等部合唱祭など多くの各行事が大成功に終わりましたが、建学祭は台風19号の影響で中止が危ぶまれました。開催日をずらし、1日の実施となりましたが、4,000人を超える来校者を迎えて、大成功となりました。いずれの行事もたくさんの思い出が創られました。

2019年も高輪台の部活動は頑張りました。高校吹奏楽部が、10月名古屋国際会議場白鳥センチュリーホールで行われた全日本吹奏楽コンクールに出場して、3年連続金賞を受賞。3月に札幌コンサートホールKitaraで行われた全日本アンサンブルコンテストでも金賞を受賞しました。ダンス部は、3月に幕張メッセで行われた「USA School&College Nationals 2019全国大会」では[高校編成 HIPHOP部門Large]第2位、8月に大阪市中央体育館で行われた「全国高等学校ダンスドリル選手権大会2019」では[HIPHOP男女混成部門Medium編成]で優勝しました。また、8月には2年生が出場した「USA Japan チアリーディング&ダンス学生新人大会」で優勝し、来年度が期待できる結果となりました。剣道部は6月、東京武道館で行われた関東大会に女子団体が出場。柔道部も6月、男子が7年連続で、ALSOKぐんま総合スポーツセンター ALSOKぐんまアリーナで行われた関東大会に出場し、準々決勝で東海大相模を破り団体バスト

4となりました。軽音楽部は、11月、沖永記念ホールで行われたMUSIC DAYS 2019 FINALに「BLAZE」が出演し、オーディエンス賞、ピクチャー賞を獲得しました。

11月、サッカー部が選手権で東京都決勝まで進み、押し気味に試合を進めましたが、後半ロスタイムでコーナーキックを決められ、全国大会出場はなりませんでした。準決勝・決勝を全校応援でサッカー部を支えたことは、全校生徒の大切な思い出となりました。

この他、いろいろな部活動の試合応援に行かせていただきましたが、どこの会場でも熱心な保護者や家族の皆さんの応援、そして、駆けつけたOB・OGの応援が選手たちを励ましてくれていました。

連続4期3年目のSSH活動も活発で、今年度も国際交流が進み、タイのプリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール・トラン校、パヤオ大学附属高校、ロシアのガスプロム高校などが来校し本校の授業に参加したり、文化交流、研究発表を行いました。また、4期目の大きな目標となっている、全クラスへのSSH活動の普及に関しても今年度第2・3学年で探究活動Ⅰ・Ⅱが行われました。

こうしたいろいろな活動が評価され、昨年も中等部・高校の学校説明見学会には、たくさんの受験生が来校してくれていました。間もなく中高の入試シーズンを迎えますが、東海大学の建学の精神に共鳴した新入生を4月にはお迎えしたいと思います。今までの新入生とは異なり、現在の中・高1年生からBYOD (Bring Your Own Device)により、文具具の一つとして、各自でコンピュータを購入して入学してきました。学校での学習はもちろん、家庭での、通学中での学習にPCを活用しています。

11月9日、たくさんの来賓をお迎えして本校創立75周年の記念式典・祝賀会が行われました。本校は、次の100周年に向けて新しいスタートを切りました。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

東海大学付属高輪台高等学校 創立75周年記念式典が行われる

昨年11月9日(土)、本校の創立75周年を祝して、10時から本校アリーナで創立75周年記念式典と記念演奏会・講演会が、13時から霞が関ビル35階の東海大学校友会館で記念祝賀会が行われました。

記念式典・記念演奏会・記念講演会・記念祝賀会には、港区長 武井雅昭様、港区議会議員うかい雅彦様、高輪消防署二本榎出張所長 渡邊多華子様の他、港区にある私立学校の理事長・校長先生方、東海大学高等学校連合同窓会の皆様方、企業関係の皆様方、本校後援会・部活動後援会・高輪会の皆様方、学校法人東海大学の皆様方など約150名の来賓の皆様方にご臨席を賜り、約1,800名の本校の高校生・中等部生・教職員が参列いたしました。

10時から行われた式典では、開式の辞、建学の歌斉唱の後、学校法人東海大学 松前義昭理事長より学園代表式辞をいただき、片桐知己治校長が挨拶、港区議会議員うかい雅彦様から来賓祝辞をいただき、秋澤雄生 高校生徒会会長が生徒を代表して挨拶をしてくださいました。校歌斉唱で式典は終了し、続いて本校吹奏楽部による記念演奏。学校法人東海大学常務理事 橋本敏明先生から「詩歌にみる建学の精神」という記念講演をしていただきました。本校創設者の松前重義博士の思いが伝わる素晴らしいお話でした。

会場を東海大学校友会館に移して、13時から記念祝賀会が行われました。松前義昭理事長より学園代表挨拶をいただき、港区長 武井雅昭様、部活動後援会 竹中輝夫会長から来賓祝辞をいただいた後、片桐知己治校長が学校代表として挨拶し、本校の同窓会にあたる高輪会 内村宏幸会長から本校に、75周年記念品として学用車が寄贈されました。

創立77年を迎えた東海大学の中で、初等中等機関としては大学の歴史に次ぐ歴史を持った本校が今年度創立75周年の式典を行い、創立100年に向けて新しいスタートを切りました。

これからも本校の発展のため、みんなで努力を重ね、ますます素晴らしい学校に発展させていきたいと意識を強く持った記念式典となりました。



2020年度東海大学付属推薦入学試験 375名が合格 おめでとう

東海大学では、社会的実践力を有した人材の育成を教育理念としており、この理念を実現する具体的な教育施策として、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つの力の育成を教育目標に掲げています。この4つの力を身につけるために、特色あるカリキュラムと教育システムを用意しています。

ご存知の通り、本学は全国に7キャンパスがあり、19学部75学科・専攻・課程をもつ全国規模のスケールメリットを生かして、今年度も多くのキャンパスに本校の3年生が進学を予定しています。

さて、2019年12月5日(木)に東海大学付属推薦入学試験の合格発表がありました。これで、4月の学園基礎学力定着度試験から始まり、芸術、医学、看護、航空操縦学専攻の適性審査を経て、11月の学園高大連携総合試験ならびに小論文試験などすべての試験が終了し、半年強にわたった付属推薦入学試験も終了しました。今年度は375名の東海大学関係への進学が決定し、これは3年生全体の約83%に相当します。

合格した生徒は、大学指定の入学前課題に取り組みつつ、入学までに各自に必要な学力を付けておくようしてください。

右に今年度の合格者の状況を紹介します。



●東海大学進学者

合格先	合格者数
文学部	21名
文化社会学部	46名
政治経済学部	27名
法学部	13名
教養学部	32名
体育学部	25名
健康学部	20名
理学部	12名
情報理工学部	5名
工学部	88名
観光学部	25名
情報通信学部	30名
海洋学部	10名
医学部	7名
経営学部	3名
基盤工学部	1名
国際文化学部	6名

●東海大学短期大学進学者

合格先	合格者数
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	4名

東海カルチャーセミナー

東海大学付属相模高等学校中等部 副校長、ラグビー部顧問
学園ラグビーコーディネーター
元東海大学付属大阪仰星高等学校 ラグビー部監督・総監督
土井 崇司 先生

東海カルチャーセミナーに参加して

後援会学年部長 平野 マリヤ

11月30日、第14回東海カルチャーセミナーが開催されました。多くの生徒・保護者・地域の方々にご出席いただきました。第1部は吹奏楽部による迫力のある演奏が行われ、会場一体となって大盛況でした。第2部は東海大学付属相模高等学校中等部副校長、ラグビー部顧問、学園ラグビーコーディネーター、土井崇司先生に「勝ち取った優勝の裏側」というテーマでご講演をいただきました。ご自身の持ち前の負けじ魂を推進力に、次々と革新的なアイデアを生み出し、いかにチームを勝利へ導くのか、有能な選手がいなくても技術だけではなく人間力の成長が優勝に結びつくことができる。そしてその糧が常勝軍団へ育て上げるというお話は、講演時間を忘れてしまうほど大変感慨深いものでした。質疑応答ではラグビー部員による熱心な質問が多くあり、大盛況のうちに終えることができました。



自主性

ラグビー部副部長 2年10組 相良 廣平

今回、とても貴重な話を聞くことができました。東海大学付属大阪仰星高等学校がどうやってラグビー全国大会常連校にまでなったのか。そこには部員たちの自主性が深く関係していました。

東海大大阪仰星もはじめから強かったわけではなく、僕たちと同じだったそうです。しかし、そんなチームが土井先生の一声で変わり始めたそうです。自分たちで練習メニューを考え、試合前後にはミーティングを行い、何が足りないのかを自分たちで常に考え、一歩ずつ確実にレベルアップしていく。そこには上級生のラグビーに対する情熱があり、それについていこうとする下級生たちが大会常連校にしていっていったそうです。

今、高輪台ラグビー部は変わろうとしています。今回土井先生の話を聞いて、僕は勝つためにはもっと改善しなければならないと思いました。一つ一つの練習に何をイメージするのか、必要なら何時間もかけてミーティングをする。一人ひとりが自ら考え、チームに伝え、チーム一丸となって考えることが不可欠だと思いました。



ラグビー部・土井先生と一緒に

2019年度学校運営方針

学校運営方針「実践目標」も今月が最終回となりました。再掲載させていただきますが、「本校に入学してきた生徒の夢や希望を大切に、一人ひとりの生徒の能力を伸ばし、自己実現が図れるよう、教職員が力を合わせて指導する。(中略)今日的課題である『生きる力の育成』に向け、全教職員で取り組んでいきたい。そしてさらに、家庭、地域社会との連携を深め、真に開かれた学校を目指し努力する」これが本校の目指していることです。年度途中ではありましたが、保護者会では「学校評価アンケート」をご協力いただき、ありがとうございました。どのような評価をしていただいたでしょうか。年度末まで、より良い評価をしていただけるよう、教職員も実践目標を再確認したいと思います。

【実践目標】

- 資源環境保護・社会環境の美化を心がける精神を身につけ、その実現に向けての行動力を育てる
- 社会福祉活動や社会奉仕活動へ積極的に参加できるようにする

自然災害といえば、まず地震が頭に浮かびます。しかし、今年は台風の怖さを思い知らされることになりました。全国で被害にあわれた方々は、今も元の生活を取り戻していません。東京の大都市であっても、不便な生活を強いられる日がつ来るかわかりません。生徒たちには、困っている人、苦しんでいる人に目を向け、何か助けができないか、考えられる人間になってほしいと願っています。

後援会から建学祭の収益金を寄贈していただきました!

後援会の皆様のご協力に感謝いたします。生徒に還元させていただきます

10月14日に第55回建学祭が行われました。今年は台風の影響で一日限りの開催となりましたが、4,177名もの方々の来校がありました。そして、今年も後援会の皆様による「バザー」や「けやき屋食堂」での収益金を学校に寄贈していただきました。毎年のごことではありますが、今年も多くのご保護者の方々にご協力をお願いし、バザー用品を抛出していただきました。後援会の委員の皆様方には、建学祭の準備や当日の運営まで、多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。これらの収益金は、今後の教育活動に役立つものの購入などに有意義に活用させていただきたいと考えております。

SSHクラスの3年生と2年生がアルメニア共和国大統領の講演を聴きました

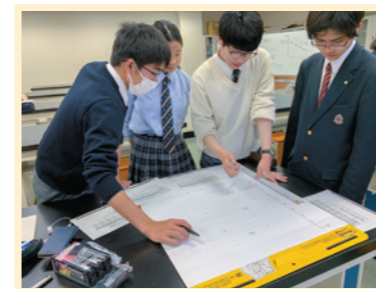
10月25日(金)14:00から、東海大学高輪キャンパスで、アルメニア共和国大統領アルメン・サルキシャン氏の講演が行われました。サルキシャン大統領は、理論物理学と数学が専門の科学者で、エレバン国立大学やケンブリッジ大学、ロンドン大学数学研究所などで活躍。1991年に在イギリス大使館に勤務した後、欧州連合のアルメニア代表やヨーロッパ数カ国の大使を歴任。2018年3月に第4代大統領に就任しました。大統領は「高度に発達した人工知能が、社会の進歩を加速させ、教育を含めさまざまな分野に変化をもたらす、世界全体を大きく変えてしまうだろう」と述べられ、「これからは、天然資源を多く持つ地理的に優位な国々ではなく、多くのアイデアや知識を持ち、それらを創造的に活用していく国々が栄える。アルメニアも日本も小さな国であるが、未来へのビジョンを持って熱心に取り組めば、成功するだろう」と語られました。

サルキシャン大統領の熱意あるお話を聞いて、参加した生徒たちが、自分の生き方について前向きに考える機会にしてくれることを願っています。



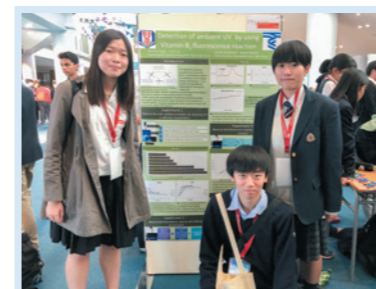
SSH活動報告

バイオ医薬品会社をお招きしてサイエンス講座を開催(10月31日)



中等部3年A組 小島 嵩史
今回のサイエンス講座では、製薬会社の研究者の方による講義を受けました。講義では、私たちが普段使っている医薬品の製造過程でどのような研究・調査が行われているのか、そして現在研究開発が進められている最先端の医薬品などについて、グループワークを交えながらとてもわかりやすく学ぶことができました。また、研究者の方とさまざまなお話をすることができ、研究発表における大勢の前でのプレゼンテーションのコツ、研究者として大切なこと、研究者になる方法などを直接教えていただけたことは、生命医学系の研究、そして研究者という仕事に興味のある私にとってはとても貴重な経験になりました。また今回の講義を受けて、多くの命を救うことができる生命医学の研究への憧れがより一層強くなりました。私は現在ミドリムシに関する研究を行っており、外部の学会での発表も控えているため、今回得られた貴重なアドバイスを今後の自分の研究活動に活かしていきたいです。

台湾の高校生との共同研究について情報を交換(11月1日～5日/滋賀県草津市)



2年10組 宮林 智加
このたび、共同研究の成果発表のために立命館高校で行われたJSSFに参加してきました。ルームメイトはロシア人にベトナム人、フィリピン人にオーストラリア人。パティはカナダ人で、スペイン人やケニア人とともに作業をし、他にもさまざまな国の方と交流しました。私たちをつなぐ唯一のツール「英語」が乏しいがために考えがうまく伝わらず苦労した面もありましたが、それ以上に自分の世界を大きく広げることができた5日間でした。また、国内生との交流も大きな刺激になりました。研究のレベルや英語能力など、同世代でここまで差があるのかと思知らされましたが、今後目指すべきところをはっきりさせることができたことは大きな成果だったと思います。今回JSSFに参加したことで生まれた反省点や広がった人脈、視野を今後の研究や進路に活かしていきたいです。

ガスパロム教育センター(ロシア連邦)との交流を実施(11月8日)



3年10組 井上 椋太
私はこのガスパロム校との交流でさまざまな貴重な体験をしました。最初、昼食を食べながらの自己紹介ですべてを理解することが難しかったのですが、自分の英語が伝わったときは嬉しい、自分たちにはない他国の文化に興味を持つことができたので楽しかったです。次にロシアの人たちがパフォーマンスを披露してくれました。歌や踊りの発表、中にはわれわれのよく知る空手の演武もありました。それは繊細かつ大胆で、今でも目に焼き付いています。その後、日本ならではの文化である折り紙で鶴を折りました。ロシアの人たちにとっては身近ではない上に、折り方を説明しようとするとうとう英語が複雑になってしまいましたが、簡単な単語だけでも手順を追って教えてくれたので、伝え方の大切さを知ることができました。今回の活動で実際に話さなければわからないことがあるという感覚が掴め、充実した時間を過ごすことができました。

大学院(博士課程)の中間発表会に参加(11月9日/湘南キャンパス)



3年10組 大山 淳樹
このたび、東海大学湘南キャンパスで行われた大学院総合理工学研究科(博士課程)の中間発表会に参加しました。私たちは大学院生たちが発表を行う前に口頭でのプレゼンテーションをしました。5分という短い時間、しかも英語による発表ということで、準備は大変でしたがうまく発表ができてよかったです。次にポスター発表をしましたが、そこでは大学院生だけでなく、大学教授も私の発表を聞いてくださいました。発表についての質問やアドバイスをたくさんいただき、とても勉強になりました。私は今回、学校の外に出て発表することが初めてだったので、うまくいかなくても不安でしたが、練習よりもうまくできたのでよかったです。そして、ここでいただいたアドバイスや激励の言葉をもとに、私の実験をもっと良いものにしていくよう精進していきたいと思っています。

SSH活動速報

- | | |
|--------------------------|--|
| 12月 3日～ 科学普及活動 | サイエンスコミュニケーター活動の開始(全26回) |
| 12月 6日～ アカデミックプレゼンテーションI | CLILによる科学的な実験結果の分析演習の開始(全9回) |
| 12月 9日 高校現代文明論 | 「現代文明の諸問題」学年発表会の実施 |
| 12月10日 高校現代文明論 | 「忠臣蔵の真実」の鑑賞 |
| 12月13日 公共科学論 | 国語科教員によるユニット授業「科学と想像力と公共」の実施 |
| 12月14日～ サイエンス基礎 | Gary Vierheller先生((有)インスパイア) 他1名による科学プレゼンテーションの実施(全4回) |
| 12月17日 高校現代文明論 | 「現代文明の諸問題」学級担任によるワークショップの実施 |
| 12月18日～ 探究活動I | 中間発表スライド作成の開始(全4回) |
| 12月24日 高校現代文明論 | 「考えるための技術」模範ディベートの実施 |

生徒会新役員決まる

生徒会役員選挙で次年度の役員が決定しました。次年度の役員も、高輪台高校・中等部の活動がさらに良くなるよう力を注いでくれると思います。生徒の皆さんも新役員のもと、生徒会活動が活発になるように協力をしていきましょう。

中等部生徒会新役員

会長 2年 A組 須藤 礼名

副会長 2年 B組 鈴木 真帆

副会長 1年 B組 浅生 蓮

会計 1年 B組 河原 佑興

書記 1年 A組 蔭山 彩菜



後列左から 蔭山さん、河原君
前列左から 鈴木さん、須藤さん、浅生君

高校生徒会新役員

会長 2年10組 廣田 雅音

副会長 2年 6組 安孫子 遼太郎

副会長 2年 6組 堀江 新

会計 1年 6組 鈴木 咲優

会計 1年 7組 入江 菜摘

書記 1年 7組 井上 奈菜

書記 1年 7組 川出 菜月



後列左から 川出さん、井上さん、鈴木さん、入江さん
前列左から 堀江君、廣田さん、安孫子君

中等部生徒会会長

2年A組 須藤 礼名

このたび、中等部生徒会会長に就任いたしました、2年A組の須藤礼名です。

私は昨年度、生徒会書記として生徒会活動をしていました。その一年間の活動を通して、生徒会は生徒の皆さんの学校生活をより良くしていくためにあるのだ、という生徒会活動をしていくにあたってとても大事なことを学ぶことができました。昨年一年間を通して学べたこと、先輩方に教えていただいたことを、今年度の生徒会活動に生かすことができると、会長に立候補させていただきました。

生徒会ではこれまでと同様に、生徒の皆さんの学校生活をより良くしていくために活動してまいります。この学校で過ごした日々が、あとで思い出したときに「良い思い出」として皆さんの記憶に残るように、私たち生徒会役員は一生懸命頑張らせていただきます。まだまだ未熟なところもありますが、一年間この5人で頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

高校生徒会会長

2年10組 廣田 雅音

このたび、高校生徒会会長に就任しました廣田雅音です。

私は、昨年度副会長として生徒会に携わってきました。生徒会活動を通し多くのことを学び、また、自分に足りないところを見つけることができました。それと同時に、1年生の時から歴代の会長の仕事を見てきて、生徒会は真面目な集団と捉えられがちですが、生徒会というチームをしっかりとまとめる姿や、明るく楽しい雰囲気作りをされていた様子に憧れを抱きました。会長という役割は憧れだけで簡単にできるような役職ではありませんが、一人で頑張るのではなく生徒会役員とともに精進してまいります。

また、生徒会長として生徒一人ひとりが輝ける学校であるよう、さまざまな企画に誠意を持って取り組めたいと思います。一年間よろしくお祈りいたします。

中等部合唱祭

11月14日、中等部合唱祭が行われました。どのクラスもこの日に向けてさまざまな困難を乗り越えてきました。本番当日、生徒たちの真剣なまなざしと素晴らしい歌声に感動させられました。美しいハーモニーを届けた3年生、来年がさらに楽しみな2年生、元気いっぱい1年生、どのクラスにも大きな拍手を送りたいです。本当にお疲れ様でした。

指揮者賞

3年B組 望月 理玖

中等部最後の合唱祭、僕は指揮者に立候補しました。そして指揮者賞を受賞することができました。人生初の指揮はとても苦労しました。特に大変だったのは右手と左手の使い方です。右手は曲のリズム、左手は音を止めるという別々の使い方をしなければならぬのに、交ざってしまい、なかなか使い分けができませんでした。しかし、友達や先生に教えてもらい、だんだんできるようになりました。このようなたくさんの方の協力があった、指揮者賞を受賞することができました。協力してくれたすべての人に感謝したいです。

伴奏者賞

3年A組 小川 玲

最後の合唱祭に向けて、クラス全員が一つになれたことは大変いい思い出です。昨年からペアを組んでいる指揮者の山中君とは、昨年以上に息を合わせられるように二人での練習も重ねました。早朝練習に付き添ってくださった古田先生にも感謝しています。本番は大変緊張しましたが、気持ちを込めて弾きました。クラスの結果は銀賞でしたが、皆の一生懸命な歌声が響いて感動しました。指揮者のリードと皆の合唱あつての伴奏なので、みんなで取った賞だと思っています。このクラスで最後の合唱祭の伴奏ができて光栄でした。

金賞

3年B組「生きている証」

合唱祭で金賞を獲得できたのは、3年B組の団結力そのものだと思います。練習を始めても、歌声がそろうことはまずありませんでした。そこで自分が今まで培ってきた音楽の知識をもとに、アドバイスすることでクラスに貢献しようと思いました。そして、今回の合唱祭で唯一4パートあるこの曲が完成しました。「音楽に感情がなければ、それは音楽ではない」という想いから歌詞や調によって、声色から指揮者の表情まで細かく合わせました。そして合唱祭当日、クラスが一つになったその瞬間こそが「感情のある音楽」となり、人の心を動かしたのかなと思っています。(筒井 大夢)

銀賞

3年A組「きみにとどけよう」

銅賞

2年B組「明日の空へ」



学年だより 中1

初めての合唱祭

11月14日に1年生にとって初めての合唱祭がありました。この日のために一生懸命練習を重ねてきました。来年は今年度よりも美しいハーモニーになるよう頑張らしましょう。

A組「この星に生まれて」
指揮:廣木 あおい 伴奏:小川 桔穂



B組「Believe」
指揮:橋本 大河 伴奏:菊田 美央



後期スポーツ大会

11月28日、本校アリーナでスポーツ大会が開催されました。どの競技もクラスで協力し、一生懸命プレーしていました。両クラスとも盛り上がりでした。



王様ドッジ



綱引き



台風の日



作戦会議中

校外学習へ行ってきました

11月29日、両国にあるお江戸両国亭に寄席を鑑賞しに行きました。落語・講談・バイオリン漫談と、聴いて笑って初めての寄席体験を大いに楽しみました。



A組 小池 海颯

小学校の授業で落語を習ったことがあったけれど、本格的な落語を見たのは今回が初めてでした。授業で習ったときは落語の何が面白いんだ、と思っていたけれど、実際に本格的なものを見てみると落語に対する考え方が変わりました。まず落語を聴いて思ったことは、とにかく一言一言が早いということです。場面が変わるときでさえ、ほとんど間がなく、時間が過ぎるのがあっという間に感じました。次に思ったことは、一人でしゃべっているのに登場人物がわかりやすいということです。落語以外にも講談や漫談といったものも見ました。講談は本当に間がなく、常にしゃべっているような口調でとてもリズムが良かったです。漫談はバイオリンを使って日常の音を再現したり、タップダンスをしていて、それが一番印象に残りました。現在は電子機器が普及して楽しみはゲームや音楽ばかりなので、たまには落語などを楽しむのもいいなあと思いました。

B組 金谷 侑真

僕は落語といえば、お正月のテレビ番組で見たことがある程度でした。正直たいてい興味もなく、真剣に見た記憶もありませんでした。桂しん乃さんの落語は面白かったのはもちろん、声の響きがすごいと思い、個人的に一番面白かったです。神田すすさんの講談では、落語で使う小道具の名前や使い方などを教えてくれて、興味深く聞くことができました。張扇を1回叩くと場面が変わり、2回叩くと時代が変わるのは、すごく面白い表現だと思いました。マグナム小林さんのバイオリン漫談は他の落語などとは違い、変わった漫談だと思いました。三遊亭遊吉さんの落語は、テレビで見たことのあるような落語でとても面白かったです。昔からある落語が現在も残っているのは落語家さんの努力なんだろうと思いました。未来にもきちんと引き継いでいきたい文化です。

学年だより 中2

合唱祭

11月14日に合唱祭がありました。指揮者と伴奏者を中心に、A組もB組もクラス一丸となって練習をしてきました。さまざまな困難がありましたが、クラスメイトと助け合いながら乗り越え、本番では素晴らしい歌声を響かせてくれました。来年はさらに成長し、最上級生らしい合唱を聞かせてくれることに期待しています。

思い出に残った団結力

A組 大古殿 真緒

「2年A組、お願いします」の合図とともに心臓の音がドクンドクンと鳴っていた。ステージに上がると、皆からの目線のプレッシャーと、シーンとしているアリーナで、緊張で胸が苦しくなりました。

しかし、クラスの皆で練習したことや先生の指導、パート練習で学んだことを思い出して2年A組の今のパワーをお客様にお見せした。普段の練習より声がなかなか思うとおりに出せなかったが、皆キラキラと輝いて歌っていた。パチパチという拍手がアリーナに響き、笑顔で席に戻った。もしかしたら、賞を取れるかもと期待でウキウキしていた。

結果発表になり、あたりがザワザワとしてきた。「銅賞…2年B組」と言われた瞬間、「ああ、駄目だったんだ」としょんぼりした。だが、この1カ月皆で練習した時間と楽しさで、少しまたこのクラスの団結力が深まったかな、と思えた。来年、メンバーは変わってしまうけど、クラスの団結力が深まる合唱祭にしたい。

二度目の団結力

B組 山本 雅一

僕たちにとって今回の合唱祭は二度目になりました。去年はまだ皆がクラスに慣れていなかったため落ちついていましたが、2年生になるとクラスに慣れてきたこともあり、練習の時はガヤガヤしていたり皆イライラしていました。僕は今回、「もうダメなのかなあ」と思っていました。

しかしそんな時に、荒堀先生がいてくれました。手をパチパチと叩きクラスを静かにさせたり、A組に負けないように朝練を早い時間からしていました。そんなことがあったお陰で、B組の「団結力」というのはより深まりました。

そして迎えた本番、ドキドキが止まりませんでした。しかし皆で頑張ったことを思い出してキラキラとしたステージで歌いました。

いよいよ結果発表。A組の歌もすごかったのですが、僕たちも努力をしたお陰か銅賞を取ることができました。嬉しかったです。来年は金賞を取りたいです。



A組



B組

スポーツ大会



校外学習



学年だより 中3

後期2カ月で学んだことや大切にしたいことを一言ずつ

合唱祭

A組

同じ目標を持つ
鈴木 絵怜奈
達成感
村井 大介
クラスの絆
晝間 春佑

B組

一致団結
山崎 歩羽
主体的に行動する
荻上 舞
1人ひとりの練習
鍛治 宏樹



スポーツ大会

A組

本気
安宅 風弥
良いクラス、
良い学年
石川 大耀

B組

心をひとつに頑張る
平川 アレックス
勝ち負けよりも
楽しむこと
和田 海翔



キャリア教育

B組



小さな発見
井上 真菜
音楽業界の裏側
結城 琴音
新しい情報を得る
鈴木 杏衣

芸術鑑賞

A組

ハクナ・マタタ
小林 秀光
感動を生む一体感
井上 夏菜
命の尊さ
石塚 俊輝



残りの時間

A組

卒業
伊藤 正宗
クラスで過ごす時間の共有
加藤 優育

B組

残された時間の使い方
勝野 涼太
人を裏切る失敗をしない
後藤田 宗孝

学年だより 高1

『いいねがもらえる写真展』の開催

今年度の建学祭で、高校1年は『いいねがもらえる写真展』を開催しました。学年全員が参加でき、高輪台の生徒・先生をはじめ、来ていただいたお客様全員が楽しめるような展示をしたいという思いから、この企画はできました。

初めに、1年生全員から写真を集める作業をしました。今年度から導入されたタブレットPCの利点を活かし、インターネット上で写真を管理するという方法を取りました。最初は初めての方法なので、不安でしたが、先生や学年委員の支えもあり、無事に印刷まで到達することができました。

今回、写真展を開催して大変だと感じたことは、学年委員の役割分担とクラスの優秀賞を決めるためのアンケートを作成したこと。自分の仕事がある中で、次の日の予定を立てることがここまで難しいものだとは思っていませんでした。

何度も意見がぶつかり、たくさん迷惑をかけたけれど、最後までついてきてくれた学年委員のみんなに感謝の気持ちでいっぱい。そして、展示を見に来てくださった方々、投票してくださった方々、そして一学年の展示を盛り上げてくれた第一学年委員のみんな、本当にありがとうございました。

(学年委員長 6組 福島 直樹)

グランプリ

富士山頂から見た雲海 8組 野網 咲良

この写真は、中学3年生の夏に、父と二人で富士山へ登り、山頂で撮った一枚です。登山途中は雨が降ってきて、気温も下がり、寒さに耐えながら登りました。しかし、頂上に着く頃には、雨もやみ、見られないと思っていたご来光を見ることができました。

頂上からは、今まで見たことがないような景色、雲よりも高い場所、そこには、雲の海が広がっていました。登山のつらさを一気に忘れるぐらいの素晴らしい景色を見ることができました。そして、何事も諦めずに頑張れば、その後には何かを得られるということを体験することができました。

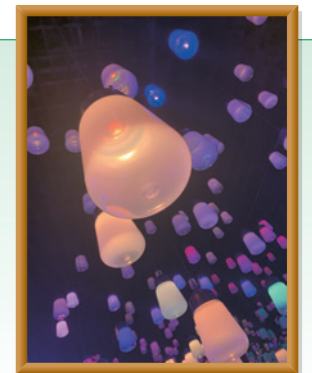
普段なかなかゆっくりと話せない父との時間、山頂から見たこの最高の景色は、私にとって一生の宝物です。この一枚がグランプリに選ばれたことをとても光栄に思っています。



準グランプリ

Pale Light 7組 宇山 颯人

この写真は、teamLabという場所で撮影しました。teamLabは最新のテクノロジーを駆使して芸術を作り出しています。そして、この施設は、ただの会社ではなく、プログラマー、エンジニア、数学者、建築家、絵師、ウェブデザイナー、グラフィックデザイナー、CGアニメーター、編集者など、今のデジタル社会のさまざまな分野の専門家が考えて作っています。境界のない一つの世界の中で、さまよい、探索し、発見するというまさに現代アートだと思います。「スゴイ!」という言葉だけでない新感覚に出会えます。ぜひ、皆さんも、体験してみてください。近未来を味わうことができますよ。



学年だより 高2

日本語ディベート大会

建学祭で行う予定だった日本語ディベート大会が12月5日に行われました。肯定側も否定側もしっかりと準備をし、白熱した討論が繰り広げられました。生徒たちの感想をご覧ください。

論題 高輪台高校は小テストの結果を「日常の評価点」(以下「日常点」)から除外すべきである。是か非か。

*ここでいう小テストとは、各教科の授業時間内に行われている学習内容の定着度を測定するあらゆるテストを指す。
*小テスト結果の日常点からの除外は、2022年から行うものとする。



肯定側・否定側・司会・タイムキーパー、皆お疲れ様でした!

勝利!

肯定側

9組 伊藤 瑠泉

今回のディベート大会で肯定側立論を務めさせていただきました。肯定側だったので現状からの打開案を考えましたが、さまざまな案があり、この立論のみでは伝えられませんでした。発表時は緊張しましたが、肯定側の意見が伝わっていただければ幸いです。



立論

4組 田村 彩奈

今回参加してみて、ディベートがどういったものなのか身を持って知ることができたので、よかったです。ディベートは大学や社会に出た時にも行われると思うので、学年のみんなもディベートに対する理解を深めてもらえたらと思います。



質疑

5組 黒澤 颯

発表とは違い、その場で相手の考えに対して、自分の考えを言うのは難しかったです。チーム一人ひとりに大事な役割があって、チーム全員で勝利をつかみました。しかし、相手チームも自分たちも最高の思い出だったので、気持ちは金メダルでした。



第一反駁

10組 宮林 智加

今回のディベートでは、学園オリンピックでの経験を生かして存分に戦うことができました。議論を上手く噛み合わせられなかったことは悔しいですが、たくさんの人たちの前で自分の意見を述べるという経験はなかなかできないので、緊張しつつも楽しむことができました。



第二反駁

8組 田中 舞音

今回、肯定側の書記として参加しました。ディベートを行う機会があまりなく、とても不安でした。しかし、チームメイトと協力して討論をして、とても良い経験ができました。この経験を生かし、意見をまとめ伝えられるよう頑張りたいです。



記録

否定側

7組 平田 虎太郎

「俺に台本なんていらねえ」—友達に僕は言っていた。しかし、現実には甘くなく、舞台上に立つと自分の考えがまとまらなかった。結果は負けてしまったが、何事も準備することがとても大切なことがよくわかった。少し恥ずかしかったけど、良い経験になった。



6組 堀江 新

今回、私は自分のことしか気にしていなかったため、同じチームメンバーの進行状況を確認していませんでした。そのため議論が深まらなかったため、次に同じようなことをするときには、周りもフォローできるようにします。



1組 居山 智輝

僕はディベート大会を通して、仲間と協力すること、批判的・客観的に物事を見る力などを学びました。担当した第一反駁は相手の立論に対して否定的に捉え、自分のチームが有利になるように導かなければならないので、難しかったです。今回の経験を将来に生かしたいと思います。



2組 正井 勇輝

今回のディベートでは、結果としては散々でしたが、大勢の前で自分の意見を整理して発表でき、自分としてはこの貴重な機会を力にすることができたと感じました。この経験を将来に役立てていきたいです。



3組 佐々木 大輔

今回は2年生全体の前でディベート大会をしました。私の役目は肯定側の記録係です。記録として私は相手の意見を早くまとめて、味方チームに助言をするという役割を果たしました。とても貴重な体験となりました。



学年だより 高3

最後の建学祭 ~その2~

新年を迎え、高校卒業が近づいてきている3年生にとっては、楽しかった建学祭も少し遠くに行ってしまいました。今月号では、後半クラスの建学祭の思い出を振り返り、輝いていた高校生活を思い出してみようと思います。どのクラスも充実した1日だったようです。それでは、ご覧ください。

最後の建学祭

6組 佐藤 純夏

高校最後の建学祭だったのですが、私は建学祭実行委員だったのでクラスの準備になかなか参加することができませんでした。しかし、みんなが協力してくれたお陰で準備もスムーズに進めることができました。建学祭当日、天気は雨でしたが、たくさんのお客さんが来てくださり、3年6組の揚げギョウザも完売することができました。最後の建学祭、台風の影響で1日だけの開催となりましたが楽しく終わることができてよかったです。



思い出の1ページ

7組 藤倉 凌太郎

私たちの高校生活最後の建学祭は、1日だけの開催となってしまいました。私たち7組はチュロスを販売しました。たくさんの人たちがチュロスを購入してくださり、予想していたよりも多く販売することができました。また購入してくれたお客様からも好評でした。1日だけの開催となってしまった建学祭でしたが、その1日は私たちにとってかけがえのない思い出になりました。

最後の建学祭

8組 尾中 美海

剛健旅行、スポーツ大会に続き、大きな行事である建学祭が終わりました。私たち8組は「からあげさん〜魂の叫び」という店名で唐揚げの販売をしました。準備では思うように人手が集まらず苦戦することもありましたが、少ない人数でも他のクラスに劣らない装飾ができました。当日は早くから来て、テントやフライヤーの準備をしてくれた人や、遅くまで片付けをしてくれた人のお陰もあり、ケガや事故もなく無事に500食完売という最高の結果で終わることができました。この思い出を大学進学後や成人後に楽しく語れる日が楽しみです。



最後の建学祭

9組 深谷 凌多

最後の建学祭の模擬店は「カーリヴルスト」というドイツの料理を出展しました。開催日程が台風で1日となり、当日も実施できるかわからなくて、高校生活最後の建学祭ができずに終わってしまうかもしれないと不安でした。当日はあいにくの雨だったものの、無事に開催できてとてもよかったです。カーリヴルストは、カレーの風味とケチャップの味が合わさり、とても美味しくできました。

チョコバナナ

10組 沖野 彩里菜

先生に勧められた模擬店はチョコバナナでした。他のクラスは揚げ物系だったのでこれは売れるぞと確信しましたが、予期せぬ事態が起こり、建学祭が1日となってしまいました。しかしクラスが団結し、お客さんを喜ばせることができました。私はクラス建学祭実行委員として相手とみんなをまとめていたつもりです。しかし、気にかけてくれる友達のアドバイスがなかったら、こんなにも良い出し物はできなかったと思います。ありがとうございました。



お知らせ

チャレンジ検定!

漢検(日本漢字能力検定) 1月17日(金) 希望者

数検(実用数学技能検定) 1月18日(土) 希望者

行事予定

January 1月

February 2月

- 1日(水) 元旦
- 6日(月) 新春懇親会
- 7日(火) 朝礼 短縮授業
- 9日(木) 学年集会③(中2・高2)
- 10日(金) 中等部入学試験願書受付
(第1回:~31日、第2回:~2月2日、第3回:~2月4日)
- 12日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑥(中等部)
- 13日(月) 成人の日
- 14日(火) 月曜日の授業
校医相談日⑨
- 15日(水) 高校推薦入学試験願書受付(消印有効)
専門医によるカウンセリング⑤
- 17日(金) 漢検③(希望者)
- 18日(土) 数検(希望者)
- 22日(水) 高校推薦入学試験(生徒自宅学習日)
- 23日(木) 高校推薦入学試験合否発表
生徒による授業評価アンケート④
- 25日(土) 高校一般入学試験願書受付(~2月5日)
- 29日(水) 特別時程(高1・2、中1・2:~31日)
卒業試験(中3:~31日)

- 1日(土) 中等部第1回入学試験(生徒自宅学習日)
- 2日(日) 中等部第1回入学試験合否発表
- 3日(月) 中等部第2回入学試験(生徒自宅学習日)
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 4日(火) 中等部第2回入学試験合否発表
- 5日(水) 中等部第3回入学試験(生徒自宅学習日)
- 6日(木) 中等部第3回入学試験合否発表
- 7日(金) 卒業試験答案返却(中3)
- 10日(月) 高校一般入学試験(生徒自宅学習日)
- 11日(火) 建国記念の日 高校一般入学試験合否発表
- 13日(木) 4時限授業(5・6時限カット)
- 14日(金) 4時限授業(5・6時限カット)
- 16日(日) 新入生制服採寸・教材販売(中等部、付属・高校推薦)
- 17日(月) 海外英語研修(中3:~26日)
- 18日(火) 校医相談日⑩
- 19日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 20日(木) スポーツ大会(アリーナ:高1) 基礎力判定試験(高2)
特別時程(中1・2)
- 21日(金) スポーツ大会(アリーナ:高2) 基礎力判定試験(高1)
特別時程(中1・2)
- 23日(日) 天皇誕生日 新入生制服採寸・教材販売(一般)
新入生・保護者登校日(中等部)
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 月曜日の授業
- 27日(木) 生徒休業日(中3)
- 28日(金) 生徒休業日(中3) 登校日(高3)

編集後記

先月、2019年の「今年の漢字」が発表された。新元号、令和の「令」の文字が選ばれた。この文字には明るい時代を願う人々の思いが集約されている一方で、自然災害で警報や避難勧告の発「令」が相次いだことも含まれているようだ。地球温暖化が深刻になる中、スペインで開催されたCOP25で、日本は福島原発事故以来、火力発電の割合が高まっていることに対して、国際社会の批判を受けた。後世にツケを回さないためにも、私たち一人ひとりの行動が今こそ大切であると同時に、明日への希望とともに、誰もが大きな花を咲かせる一年にしたい。(ほ)

クリスマスツリー点灯式



撮影：写真部部长 2年 大野紘平君

今年度もクリスマスツリーの点灯式が行われました。このクリスマスツリーは2014年度に大学の高輪キャンパスが行っている「Takanawa共育プロジェクト」に本校生徒会も参加させていただいたことがきっかけとなり、今年度で6年目となります。高校生徒会と中等部生徒会が飾り付けに携わり、華やかにライトアップされたツリーが私たちをワクワクした気持ちにさせてくれました☆ 来年度もぜひ楽しみにしていただければと思います。